



## ソニー銀行株式会社との業務提携について

株式会社千葉銀行（取締役頭取 米本 努、以下「千葉銀行」といいます。）は、ソニー銀行株式会社（代表取締役社長 南 啓二、以下「ソニー銀行」といいます。）と業務提携（以下「本提携」といいます。）を行うことを取締役会で決議し、業務提携に関する基本合意書を締結しましたので、下記の通りお知らせします。

### 記

#### 1. 本提携の経緯及び目的

千葉銀行は、「金融機能の深化と地域金融の新たなモデル構築による『カスタマー・エクスペリエンス』の向上」に向けた取組みとして、お客さま向けサービス・業務運営・人事戦略のDXを進めています。お客さま中心のビジネスモデルをさらに進化させていくためには、デジタル技術等に強みを持つ新たなパートナーとの協業によるDXの高度化が必要であると考えています。

ソニー銀行は、ソニーグループならではの最新のテクノロジーを活用するネット銀行として、信頼性の高いダイレクト/インターネット金融サービスを提供しています。多様化するお客さまの資産運用、資産形成のニーズへの対応や、金融とテクノロジーの力でお客さまの課題を解決していくためには、ネット銀行としての知見・ノウハウに留まらず、広範な顧客基盤や地域との緊密なリレーションを持つパートナーを確保し、金融サービスの更なる向上を行っていく必要があります。

両行は異なるビジネスモデルを展開していますが、それぞれが得意とする領域を活用しながら互いの戦略を補完することで大きなシナジーを生み出すことができ、両行の持続的な成長と企業価値向上に資するとの判断から本提携に関する基本合意書を締結しました。

## 2. 本提携の概要

### (1) デジタル技術や商品・サービスの相互提供

#### ➤ 最新デジタル技術等の活用

最新デジタル技術やデバイスについて、金融・非金融両分野での活用方法を両行で共有し、最先端のサービスをお客さまに提供します。

#### ➤ 両行の強みとする商品・サービスの相互提供

ビジネスモデルの異なる両行が、それぞれ強みとしている商品・サービスや、それにかかる知見・技術を共有し、各種機能を相互補完することで、サービスラインアップの拡充を図ります。

### (2) テクノロジーの活用についての共同研究

#### ➤ ブロックチェーンの活用に関する共同研究

不動産ローン債権のセキュリティ・トークン化をはじめとするブロックチェーンの活用について、両行でユースケースの共同研究を行い、金融・非金融両分野でのサービス提供に向けた検討を行っていきます。

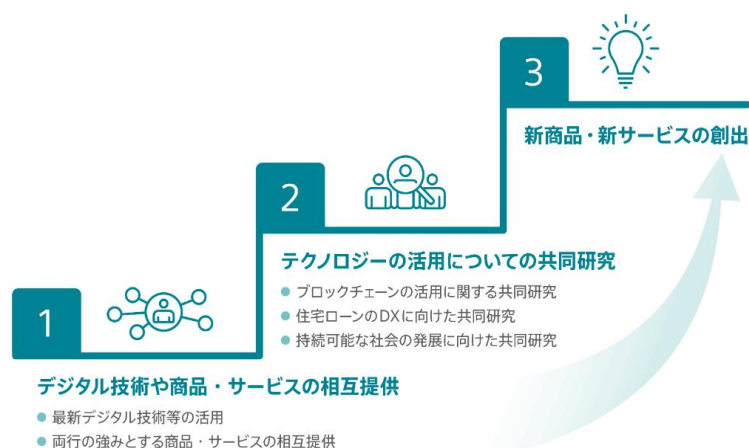
#### ➤ 住宅ローンのDXに向けた共同研究

住宅ローンをご利用されるお客さまの利便性向上に向けて、不動産テックやAI審査等のデジタル技術を活用した取組みについて、共同研究を進めます。

#### ➤ 持続可能な社会の発展に向けた共同研究

持続可能な社会の発展・SDGsの達成に向けた取組みとして、両行の顧客基盤・テクノロジーを活用し、金融・非金融両分野でお客さまを支援するサービスの検討を行います。

### (参考) 本提携に関するイメージ図



### 3. 本提携の当事会社の概要（2022年3月末時点）

商号	株式会社千葉銀行	ソニー銀行株式会社
代表者	取締役頭取 米本 努	代表取締役社長 南 啓二
設立年月日	1943年3月31日	2001年4月2日
本店所在地	千葉県千葉市中央区 千葉港1番2号	東京都千代田区 内幸町二丁目1番6号
資本金	1,450億円	385億円
総資産（単体）	19兆112億円	4兆3,597億円
純資産（単体）	9,799億円	1,165億円
預金残高（単体）	14兆7,876億円	3兆1,712億円
貸出金残高（単体）	11兆6,913億円	2兆6,232億円
従業員数（単体）	4,070人	569人

以上